

山梨大学 土木環境工学科 地域防災・マネジメント研究センター

平成24年度第1回連絡会議 議事録

日時：平成24年5月30日13時30分～15時00分

場所：山梨大学工学部B1号館3階多目的室

参加者：山梨県（城野，井上，五味，風間，千頭和，小林）

山梨大学（鈴木，村上，末次，武藤）

オブザーバー：甲府市（小田切，長田）

※敬称略

配付資料	1-0	平成24年度第1回連絡会議議事次第
	1-1	平成23年度第5回連絡会議議事録（案）
	1-2	平成24年度第1回連絡会議出席予定者名簿
	1-3	主要県道における土砂災害発生の可能性の高い箇所の抽出とそれに関連する中山間地域の孤立化対策—峡南地方を対象にして—
	1-4	災害時インフラネットワーク維持施策
	1-5	情報システム（山梨減災情報システムプロジェクト）
	1-6	防災教育
	1-7-1	平成24年度「大規模災害に備える！」防災研修会（水害編） 講義アンケート 満足度（講師別）
	1-7-2	平成24年度「大規模災害に備える！」防災研修会（水害編） 講義アンケート 講師：野中所長

1. 開会の挨拶

鈴木センター長より開会の挨拶とともに、昨年度3月に開催された運営委員会にて基幹事業の昨年度成果の報告がなされ、本連絡会議では本年度の事業計画が提示されることが説明された。さらに、6月5日開催予定の運営委員会では、本連絡会議での議論による修正を加えた上で改めて事業計画が提示され、承認を受ける予定であることが説明された。

2. 前回の議事録の確認

前回議事録の確認を行った。

3. 事業の進捗状況の報告

（1）中山間地域の孤立化対策

資料に基づき、中山間地域の孤立化対策に関する事業計画が説明された。

本年度は、

○交通路遮断危険箇所の抽出

○それに伴う孤立化危険集落の抽出

を行い、山梨県との調査結果との突き合わせも行き情報交換を行う。

さらに、孤立化集落に対するソフト対策を検討し、10月開催予定の南部町の防災訓練においてモデル地区を選定した上で、山梨県との協力の下、試行的に実施することを考えている。

（2）災害時インフラネットワーク維持施策

資料に基づき、災害時インフラネットワーク維持施策の事業計画が説明された。

本年度は、

○道路ネットワーク上の脆弱箇所の整理と被害確率の推計

○全県を対象としたネットワーク分析への拡張

○多属性効用関数理論による耐震補強順位の決定
を行う。

本年度終了時点での成果としては、ネットワークの重要度を具体的に計測し、その補強優先順位を提示することを念頭においている。県とは災害想定シナリオ設定等について情報交換を行う。

(3) 情報システム

資料に基づき、情報システムの事業計画が説明された。

本年度は、

- 本年度の山梨県防災訓練に災害情報システムを試験的に適用する
 - 災害対応管理システムを新たに4市町、1消防本部に適用する
 - 残りの20市町村は希望に応じて実費のみでシステムを構築する予定
 - 実証実験には、特定非営利活動法人防災推進機構の会員が適宜参加する
- といったことに取り組む。

これに対し、南部町の防災訓練においても減災システムの適用を試みたいとの意見が出された。ただし、実装に当たっては、どの程度の訓練時間、手間などが必要か、その点が問題となるとの指摘もあった。

(4) 防災教育

資料に基づき、防災教育の事業計画が説明された。

本年度は、

- 防災研修会（水害編）の実施⇒既に実施
 - 平成25年度からの防災士養成講座の実施に向けた準備
 - 山梨県を対象とした防災教本の作成
- に取り組む。

養成した人材を市町村の中でどう位置づけるかが課題ではないか。活躍する場を作る必要がある。

甲府市では、災害時に避難所へ職員を連絡員として派遣しているが、そうした職員が地域のリーダーとなれたら良いのではないか。

続いて、5/21、22に開催された防災研修会（水害編）の報告がなされた。おおむね好評だったことが説明された。

4. その他

特になし。

5. 今後の予定

- ・運営会議、6月5日に開催
- ・次回連絡会議は、改めて日程調整を行う。

作成日：2012年6月1日